

ふぐす

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行

5月・8月・11月・2月

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会

電話 0946-42-6622



三並小学校児童

中牟田小学校5年生



6月定例会 P2~5

委員会活動開始 P6~7

こんなこともやっています P8

ここが聞きたい(一般質問) P9

第54号

2019.8



6月定例会

6月7日から14日の8日間の日程で開催された。
6月定例会は、報告2件・承認4件・議案5件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

令和元年度一般会計6月補正予算

2億1,445万円を増額
総額121億6,129万円

(前年度121億7,347万円)

今回、6月補正として大きな補正額となったのは、10月に消費税対策として実施されるプレミアム付商品券事業(補助事業)の一部を県が取りまとめるため、予算措置が急遽必要になった。また、ため池の洪水吐改修工事も実施される。主な補正内容は下記のとおり。

6月補正予算の主なもの(増額分)

プレミアム付商品券事業費 1億4,179万円

●目的

令和元年10月予定の消費税引き上げによる家庭への影響緩和と、地域における消費喚起・下支えのため。

●対象者(購入できる方)

- ①住民税非課税者(課税者と生計同一の配偶者・扶養家族、生活保護受給者は除く)
- ②令和元年9月30日までに3歳未満の子どもがいる世帯の世帯主

●制度の概要

- ・1冊5,000円分の商品券を4,000円で販売。
 - ・対象者1人あたり5冊(25,000円分)まで購入できる(対象②は、対象子ども人数分の購入が可能)。
 - ・商品券が使える期間・店舗は市町村が定める。
- ※くわしくは町のホームページ、又は総務課行政政策係にお問い合わせください。

質疑応答・討論

問 対象者6千人のところ購入見込みを5千人として、残りの千人の低所得者に対する手立ては。本当に低所得者の方が2万円出せるとお考えか。

答 臨時給付金と違って対象者に給付する事業ではないので、あくまで購入見込みとして予算を計上している。必ずしも2万円出される訳ではないので、必要な分だけ買われると思う。

(財政課長)

〔反対討論〕河内議員
すべての低所得者に行き渡らないので反対。

〔賛成討論〕横山議員
低所得者のほか、小さいお子さんがいる方も対象になるので、この制度は進めていくべきだ。

●森林環境税

国民みんなで森林を支える仕組みとして、住民税均等割と併せて賦課徴収される国税。令和5年度から年額1,000円課税される。

●森林環境譲与税

森林環境譲与税は、国民から徴収された森林環境税が市町村及び都道府県に対して譲与されるもの。

森林現場における諸課題にできるだけ早く対応するため、森林環境譲与税は令和元年度から譲与されることになっており、譲与額323万円を基金に積み立てる。

森林環境譲与税基金 323万円

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の創設に伴い、森林の整備及びその促進に関する財源に充てるための基金を設立し、新たに筑前町森林環境譲与税基金条例を制定した。

質疑応答・意見

問 私有林のない大都市の自治体が私有林面積の広い自治体よりも譲与額が大きくなっている。森林整備に必要な自治体に重点的に配分すべきと考えるが。

答 配分基準は、総額を都道府県2割、市町村8割で案分され、市町村の割合のうち私有林人工造林面積で10分の5、林業就業者数で10分の2、人口で10分の3の基準で配分をなされる。

配分の理由は、単に森林の間伐など森林整備のみならず、広く木材利用促進や普及、啓発等を目的とされているため。
(農林商工課長)

問 個人住民税の均等割は、所得割が非課税となる人にも一律の額で課税されるため逆進性が高く、低所得者の負担をさらに強めるものだが。

答 この税の導入は各自治体からの強い要望によって実現したもので、まずは導入されたことについて、町にも利益があると考えている。
(町長)



【意見】河内議員
森林整備は、国の一般会計における林業予算の拡大など、より安定的な方法で財源確保を行うべき。また、国の一般会計から需要のある自治体への財源配分という観点から、地方交付税の総額を増やして財源確保を行う方が適切と考える。

平和推進事業 418万円



記念事業の
新聞広告料及び
PR用原画作成委託料

農村環境整備事業 3,002万円

中島池及び地藏谷池の
洪水吐の改修工事



多目的運動公園管理業務 305万円

改元に伴う梅の植樹、
銘板・フラッグポールの設置



工業用地造成事業特別会計繰出金 946万円

工業用地造成事業費
の支出のため



議案

専決処分

議会の議決・決定事項を町長が議会に代わって処理した内容について、報告を受け承認した。

① 県道筑紫野三輪線における事故

町の水路管継ぎ目からの漏水により道路が陥没して車両が転落。損害賠償として県と町で7対3の割合で補償。(全国町村会総合賠償保険で対応)

② 平成30年度筑前町一般会計予算の繰越明許費繰越

災害復旧費合計3億3,751万5千円を繰越。

※繰越明許費とは、年度内にその支出が終わらない見込みのものについて、翌年度に繰り越して使用する経費。

③ 筑前町税条例等の一部を改正する条例

ふるさと納税制度の見直し、住宅ローン控除の拡充等、地方税法等の一部改正・施行に伴う改正。

④ 筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・賦課限度額が93万円から96万円へ増額。
・世帯の軽減判定基準額引き上げによる軽減拡大。
・被用者保険の被扶養者だった被保険者に対する軽減特例措置の縮小。

【反対討論】河内議員

1世帯当たりの2017年度の課税標準額は年109万4千円しかないのに、国保税は高騰し続け、高い市町村では所得の2割を超えている。
減額対象額が増額にはなっているが、協会けんぽと比べ同収入でも倍近い保険税は、これ以上上げるべきではない。

【賛成討論】横山議員

負担増が重い中間所得層の負担をできる限り緩和する狙いで、賦課限度額の増額、低所得者に対する軽減措置の基準額も引き上げている。

また、後期高齢者医療制度において負担能力に応じた負担を求める観点から、応益割に係る保険料の軽減措置について見直しされたことを踏まえ、国民健康保険でも同様の措置見直しがなされたものである。

請願

建設従事者のアスベスト被害の早期救済・解決と被害者救済基金の設立を検討することを国に働きかける意見書提出を求める。

【結果】意見書採択

国の関係機関へ
意見書を提出

請願

2020年度政府予算と地方財政の検討において「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める。

【結果】意見書採択

国の関係機関へ
意見書を提出

環境省

大気汚染防止法の改正(2021年施行)による
アスベスト飛散防止対策の強化を検討中

環境省では、今年度中に予定されている大気汚染防止法の施行5年後の見直しにおいて、対策強化の検討が行われている。

今も多くの建物にアスベストが残っており、健康被害を出さないために実効性のある方策が求められている。

● 現行

解体・改修する建物にアスベストがある場合は自治体に届け出

● 新しい仕組み

解体・改修する建物は全て事前に調査を行い、アスベストの有無を自治体に報告(義務)

議員の賛否

令和元年 6月定例会

区分	審議結果	議員名 議案名	寺原 裕明	柳 雅明	持山 英幸	石橋 里美	木村 和彦	深野 良二	田口 譲司	山本 一洋	奥村 忠義	山本 久矢	木村 博文	河内 直子	横山 善美	
報告	審議なし	専決処分の報告(県道筑紫野三輪線における事故)・・・P4①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		専決処分の報告(平成30年度筑前町一般会計予算の繰越明許費繰越)・・・P4②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
専決	承認	筑前町税条例等の一部を改正する条例 ・・・P4③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する 条例・・・P4④	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
		反対討論・賛成討論はP4をご覧ください。														
		平成30年度筑前町水道事業会計補正予算(第3号)・・・納付すべき消費税額増加による補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度筑前町一般会計補正予算(第1号)・・・P2(プレミアム付商品券事業費の補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		反対討論・賛成討論はP2をご覧ください。														
条例	可決	筑前町森林環境譲与税基金条例の制定・・・P3(森林環境譲与税基金)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算	可決	令和元年度筑前町一般会計補正予算(第2号)・・・P3(主な内容を掲載)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度筑前町一般会計補正予算(第3号)・・・P3(工業用地造成事業費の補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和元年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)・・・P3(工業用地造成事業費の補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	可決	区域外路線の認定の承諾・・・筑紫野市が区域を越えて道路認定を行うことについての町議会の議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	可決	地方財政の充実・強化を求める意見書 ・・・P4(請願審査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		建設従事者のアスベスト被害の早期救済・解決と被害者救済基金の設立を検討することを国に働きかける意見書・・・P4(請願審査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長 田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

【お詫びと訂正】

議会だより「うぐいす第53号」(令和元年5月1日発行)11ページの議決結果の記載に誤りがありました。
議員名欄の左側から5番目に奥村忠義議員の名前が掲載されていますが、正しくは深野良二議員の名前が入ります。両名とも全議案に賛成されています。
関係者ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

町政につなげ！ ～委員会活動開始～

総務建設常任委員会

住民目線の サービス向上を



所管課の施策説明会

長年の課題となっている地域巡回バスやコミュニティづくりについて、先進地の取り組みを視察し、町施策に活かせるヒントを探り、より良い方策を研究します。

また大刀洗平和記念館のPR活動を行い、来館者増大を目指します。

主な取り組み

- 毎月の常任委員会の開催
- 6月28日 常任委員会所管の施策説明会
- 7月22日 筑紫野市コミュニティ・バス視察調査
- 県内6地区の教育事務所への平和記念館PR活動

現場支援のために

～民生委員・児童委員との意見交換会～

6月5日(水)めくばー健康福祉館において、意見交換会を行いました。

民生委員・児童委員は、石丸会長をはじめ13名の役員の方が参加されました。

意見交換会の中では、「独居高齢者のさまざまな課題」「教育問題」「自治会やPTAに加入しない問題」等の意見がありました。

意見交換会で出された意見については、委員会で論議して各関係機関に提言していきます。

主な取り組み

- 毎月の常任委員会の開催
- 6月20日 常任委員会所管の施策説明会
- 6月19日・25日 中学校アフタースクール訪問
- 6月28日 町PTA連合会との意見交換会
- 7月25日 教育委員との意見交換会
- 2学期中に実施 各学校訪問

文教厚生常任委員会



民生委員・児童委員との意見交換

住民の声を現場の声を

議会活性化検討特別委員会

意見交換会

の実施



昨年の議会報告会の様子

各種団体との意見交換会を開催します。事前に頂く質問や要望等をもとに意見を交わし、問題に対する認識を深め、町の取り組みの確認や要望を行っていきます。

また、現代の社会問題等の勉強会を開催し、議員の資質向上に取り組みます。

主な取り組み

※意見交換会の開催

- 7月13日 男女が輝くまちづくりを考える会
- 7月24日 区長会
- 7月29日 筑前町シニアクラブ連合会
- 8月21日 商工会との意見交換会
- 10月19日 議会報告会

議会基本条例では、任期開始後に議会活動の検証を行うことになっています。

現在、委員会で検証作業を行っており、結果をまとめた後に議員全員で協議を行い、今年の秋頃に公表を行う予定です。また、検証により把握した課題に対する調査・研究を行っていきます。

議会運営委員会

議会基本条例の検証

議会広報特別委員会

編集技術の向上をめざす

議会広報誌の編集について、編集のプロの方から「診断」を受ける研修に参加します。

発行したばかりの広報誌を実際に見ていただき、適切な表現方法や読者の立場からの意見など、様々なアドバイスを受け、議会情報を住民にわかりやすく伝える技術の向上を目指します。

～こんなこともやっています～

5月21日(火) 防衛省情報施設連絡協議会役員会in京丹後市



全国より参加されている役員会

この協議会では、防衛省のレーダーサイト及び特定の通信所を対象とする「基地交付金」の予算増額に向け、全国34市町村議会が連携して運動を行っています。

筑前町には下高場に「太刀洗通信所」があるため加入しており、現在筑前町議長は理事を務めています。

「基地交付金」とは、固定資産税の代わりに町が国から受け取るお金のことです。協議会が発足する以前はわずかな交付金しかありませんでしたが、協議会の活動により増額され、平成30年度の交付金額は1,255万円でした。

今後とも、関連団体と連携を密にしながら積極的に活動していきます。

6月17日(月) 小石原川ダム工事現場視察

現在、朝倉市江川ダムの直上流の位置に小石原川ダムが建設されており、議会で視察に行ってきました。

ダムの建設は、小石原川沿川の洪水被害を軽減する「洪水調節」、異常渇水に備える「緊急水の確保」、福岡県南地域の「水道用水の確保」を目的としています。

完成は2020年の予定であり、その効果が大変期待されるところです。



堤高が139m九州一高いダムの建設

6月16日(日) 全町避難訓練・議会模擬訓練



避難所の状況

議会では、「筑前町議会災害対応方針」及び「筑前町議会災害対策協議会設置要綱」を制定しています。

今回の全町避難訓練にあわせて、全議員も模擬訓練を行いました。各地域の避難状況を町議会災害対策本部に報告をするものです。

その結果、災害時の迅速な連絡体制等の必要性を再確認できました。



6月定例会

一般質問 町政を問う

6月議会では、8人の議員から13件の一般質問が行われ、町政全般について活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。（<http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/>）

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

筑前町議会

検索

会計年度任用制度を住民の利益に
深野 会計年度任用職員制度導入にむけた進捗状況は。
総務課長 職員の勤務実態を把握するために調査を2回実施し、進めている。
深野 法改正の趣旨を踏まえた制度設計を考えているのか。
総務課長 現に存在する職を精査し、住民のニーズにこたえる簡素で効率的な行政体制を実現させたい。
深野 職務経験の要素を考慮した初任給の設定をすべきだが。
総務課長 職務経験等を反映できるような検討が必要だ。
深野 優れた人材の長期任用や昇給制度も検討しては。
総務課長 制度設計の中で検討していく。



深野良二 議員



さらなる住民サービスを

深野 制度導入にむけた財源は。また、財源をどうするのか。
総務課長 必要な財源額は、制度設計が終わっていない中で提示することは難しい。また、財源については、国の特別交付税措置と町の負担もあるが、住民のニーズにこたえる効果的・効率的な行政サービスのため、適正な制度設計を行っていく。
深野 制度の導入で臨時・非常勤等職員の待

遇改善、雇用安定につながるよう取り組みをお願いしたい。
 ※「会計年度任用職員制度」は、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が2017年に成立し、自治体の非正規職員の任用・服務規律等の整備を図るもので2020年4月から施行される。

住民サービスの低下に
ならない制度設計を
簡素で効果的な制度設計を行う



山本一洋 議員

筑前町平和の日の設定を

山本 戦没者追悼式典参加者等も会員の高齢化に伴い年々減少してきているが、対応は。
福祉課長 町広報や防災無線を利用しての呼びかけや、個別案内状の送付を行っている。
山本 従来通りの対応をしても、参加者が増えていないのが現状だ。町が行っている平和に関する事業が色々あるが、町全体で平和を考える一日となるような平和の日の設定を考えてみてはどうか。
町長 それぞれの事業がまだ緒に就いたばかりである。それぞれが、充実した形になった時には、検討すべきではないか。
山本 全国では、どのくらいの自治体が平和の日を設定しているか。

できないからではなく 何ができるかの発想を

イノベーションは町づくりの基本だ

企画課長 全国で16自治体ほどが平和の日を設定して様々な取り組みをしている。

山本 取り組み内容は、本町と変わらない。ここで16自治体の仲間入りをして、筑前町の平和の取り組みを全国にアピールすべきだ。早急に取り組んでほしい。

めくばり館を有効活用すべきでは

山本 めくばり館の来館者を増やす対策は。
福祉課長 地域の人を元気にするための養成講座などを実施している。
山本 地域の力を活用することは、大事な視点だ。趣味や健康のため色んな講座や仕掛けが必要ではないか。
町長 時代に合わせた活用をすべきだ。認識は共有している。



めくばり館を仲間との触れ合いの場に

災害時用として
液体ミルクの備蓄を

石橋 液体ミルクの有用性について、男女共同参画社会の観点からどの様に捉えているのか。

企画課長 子育てにおける男女共同参画の推進に寄与すると考えられるが、国・県の見解や利用者の声、普及状況を把握していく。

石橋 災害時の物資供給協定をコメリ災害センターと結ばれているが、液体ミルクは調達可能か。

環境防災課長 調達可能な物資という回答を得ている。

石橋 液体ミルクの啓発活動にも活用できるようローリングストックによる活用も視野に入れて、災害時の生活必需品として備蓄できないか。



石橋里美 議員

町長 現物を確認し、担当課等で検討していきたい。

温度計付きカードの配布を

石橋 家庭で発生する高齢者の熱中症が増えており、その対策の必要性が高まっているが、町の取組みは。

福祉課長 ケアマネジャーや在宅介護支援センター職員による定

期的な訪問や電話での熱中症対策の声掛けや確認、民生委員さんには訪問時の見守りをお願いしている。

石橋 部屋の温度を見て熱中症予防対策に繋げることができ温度計付きカードを配布できないか。

町長 様々な熱中症対策の一つのチャンネルとして研究に値すると考えており、研究、検討して方向性を出したい。



国内で生産、市販されている液体ミルク
 写真右：アルミ缶（賞味期限1年）
 写真左：紙パック（賞味期限6ヶ月）

液体ミルクの備蓄を

検討していきたい



持山英幸 議員

投票率を上げるために

持山 皆が投票しやすいように三輪地区にも期日前投票所を開設していただきたい。

総務課長 投票管理者、立会人、事務従事者の確保が難しく、増設が困難な状況である。

持山 選挙の期日前投票所は、二階から一階にすべきではないか。

総務課長 本庁舎一階にはスペースがない。

持山 本庁になければ公民館支館にしては。

総務課長 今まで話はないが今後検討していきたい。

後継者不足の対応は

持山 少子化による後継者不足が、各業種に及んで非常に深刻な状況である。農業におい

三輪地区に

期日前投票所の開設を

投票管理者などの人員確保が困難

では、高齢化が進み耕作放棄田が多くなり、獣による住民への被害が心配だ。行政の対策は。

農林商工課長 多目的機能支払交付金事業で支援を行い、農作業の効率化・省力化を図るため、草刈り機の導入などの助成を行っている。

町長 働き方改革の時代で農業と職の二つを

持つことに大企業もメリットがあると言われている。若い人達はIT及びロボットを利用したスマート農業を目指している。

持山 今後は大規模農家と共に、小規模・兼業農家も重要になってくるが。

農林商工課長 農家の所得向上のため、六次化の推進・支援を行っている。



期日前投票所(本庁2階)

商工・観光の

振興を

木村 農林商工課に商工係を置いて連携を強化し、活性化を図るべきでは。

総務課長 機構改革の中で検討していく。

木村 観光協会の設置を。

町長 観光施策を研究する場は必要。官民一体で議論していくべき。

ペットを取り巻く

環境整備

木村 「イエローチョーク作戦」(※)を取り組めないか。

環境防災課長 同作戦は住民主体の理想的な取り組みで、低コストで期待できるので、導入を検討したい。

木村 飼い主の体調不良等で飼養が困難になるケースの対策を。



木村博文 議員

環境防災課長 里親と繋ぐネットワークの構築の為、諸団体や地域住民との連携を図る。

子どもの

健全な体づくりを

木村 学校グラウンドの芝生化をできないか。

教育長 地域の協力体制が必要で、学校運営協議会等で熟議して頂いた上で、支援をしていきたい。

木村 中学校体育館前に、熱中症対策の自動

販売機設置を。
教育長 学校運営協議会等で協議されて、要望があれば、設置可能と考える。

その他の質問

・子どもの体力向上の取組みを。
・学校で動物愛護教室を。

※「イエローチョーク作戦」とは、放置されたフンをチョークで囲んで飼い主に啓発する取り組み。



農林商工課・商工係を

商工担当係を設置して

更なる活性化を

機構改革で検討する



寺原裕明 議員

議会のICT化を

寺原 実施に向けてのこれまでの経緯は。

総務課長 平成28年度から29年度にかけて、議会活性化検討委員会及び議会定例協議会で審議されている。

寺原 議会をインターネット中継すること、まちづくりへの住民参加の輪を広げたい。早期の実施を。

町長 情報公開は積極的に賛成である。実施に向けての論議を深めたい。

教職員の多忙化

解消について

寺原 今、学校現場は多忙を極め、子どもたちと向き合うことが困難な状況である。多忙化解消の方策は。

教育課長 県の指針に基づいて、町の教職員働

議会のインターネット中継の実施を

情報提供は極めて必要と考える

き方改革指針をつくり、小・中学校の保護者にも周知したところである。特別支援に係わる作業療法士も配置した。

寺原 県や教育事務所で研修に加えて、町独自の研修もあり、教職員の負担は極めて大きい。

削減の努力をしてもいい。削減の努力をしてもいい。

教育長 学校を取り巻く様々な課題が増え、



大刀洗町議会ホームページより



久留米市議会ホームページより

幼・保無償化で町の負担は

町の負担は

河内 2020年度以降の減額分の町負担額は私立4分の1、公立10分の1となるが、金額的にはどの位になるのか。

こども課長 私立・公立、合わせて4千万円前後になる。

河内 公立ほど自治体の負担が増える。今後、公立の美和みどり保育所をどのような形態に考えているのか。

町長 一つの公立は必要。存立のもとに充実した施設の環境整備に努めていきたい。

子ども医療費助成の更なる拡充を

河内 筑前町でも、完全無料化と18歳年度末までの助成を進めてもらいたい。



河内直子 議員

健康課長 今後の国動

向や県内及び近隣状況を見ながら、少子化対策の視点も含め、研究課題としたい。

国民健康保険税の引き下げを

河内 全国知事会も求めているように、公費を一兆円投入すれば、均等割と平等割をなくせる。国にもっと強く働きかけを。

町長 全国町村会を通じて、積極的な要望活動を今後も継続していく。

種子法廃止への対応を

河内 県は要綱を定め、廃止前と同じ状況とはなっているが、継続される保証はない。県に条例化を求めるべき。

町長 町村会を通じて

美和みどり保育所の 今後はどうなる

一つの公立保育所は必要



筑前町でただ一つの公立保育所

ボールが飛び出し危険

河内 篠原新道防災緑地公園のフェンスをもう少し高くできないか。

都市計画課長 高くするより、マナーの指導をする方が安心・安全な公園利用ができると思う。

必要であれば要望していきたい。



山本久矢 議員

スポーツ少年団の 支援状況は

山本 スポーツ少年団で全国大会に個人・団体で出場し、子どもたちも頑張っている。良い経験をしており、励みになると思うが、補助金等の状況は。

生涯学習課長 スポーツ少年団は19団体あり、施設利用は無料。補助金は令和元年度から1団体につき9万3千円と千2百円×団員数で交付している。

スポーツ少年団単独の主催事業は事業費の二分の一、最高3万円補助をしている。町外へのクラブ等に参加している個人には、全国規模の大会参加時に補助をしている。

山本 監督及びコーチに補助金等はあるのか。

生涯学習課長 出場者

全国規模スポーツ大会の 補助金見直しを

他市町村の状況を確認し検討する

名簿に監督として載せられている1名に対して助成という制度を、要綱として定めている。

山本 監督及びコーチは仕事を終えての指導で大変だ。補助金等の見直しを。全国大会で入賞、優勝の場合、奨励金制度はあるのか。

生涯学習課長 成績に応じた、個人や団体に對しての一時金的な奨励

励金はないが、今後、他市町村の状況を確認し必要に応じて検討する。

山本 是非とも検討していただきたい。子どももコーチ・監督の励みにもなる。将来の筑前町を担っていく子どもたちに、スポーツを頑張つて良かったと思える子どもたちを育てていきたい。



がんばれ！ちくぜんっ子！

6月議会 傍聴者の声

教育に関する質疑をきいたが、先生達が生き生きと仕事にとりくめる環境整備を今後も進めて頂きたいと思う。そのことは子ども達にもきつとプラスになると思う。

(匿名)

傍聴席前方の窓を低くし、全体が見渡せるようにしてもらいたい。

(T・Hさん)

本会議の開始時刻が10時と、丁度良いにもかかわらず、子どもの送迎や家事を終えても充分な時間なのに、若い世代の傍聴が少ないことが残念です。どこの市町村も同じで議会運営の課題でしょう。若い方の関心を持つ取り組み(インターネット中継など)が必要です。

(町外者)

現状の取組と今後への推進について真剣に議論されていた。特に課題の進捗状況を次回の定例会等で望みたい。

(R・Hさん)

傍聴者数35人ありがとうございました。ご意見につきましては、今後検討していきます。

【一般質問通告書の公開】

8月21日以降ホームページで公開の予定です。
また、支所窓口や議会事務局で配布していますので、ぜひご覧ください。



令和元年9月定例会 (予定)

- 開会 9月 3日(火)10:00～
- 一般質問 9月 5日(木)10:00～
～ 9日(月) //
- 決算審査特別委員会 9月11日(水)10:00～
～13日(金) //
- 閉会 9月17日(火)14:00～

6月30日(日)、筑前町男女共同参画センター・リブラにおいて、『第4回福岡県女性消防操法大会』結団式が行われました。

大会は8月25日(日)に嘉麻市の福岡県消防学校で行われます。筑前町女性消防隊は朝倉郡の代表として初めて出場します。

6月中旬より週3回、甘木・朝倉消防署西部分署の署員の指導を受けながら、7月からは役場本庁で、厳しい訓練に励んでいます。夜の時間帯の訓練のため、仕事と家庭を両立させながらの取り組みには、本当に頭が下がる思いです。

本大会に指揮者として出場する林拓子さんは、「チームワークを大切にしながら、訓練したことを本番に生かせるように頑張ります。」と、力強く決意を語ってくれました。

ケガのないように訓練を行い、本番で活躍されるよう、願っています。

(写真左より、指揮者：林拓子さん、1番員：大庭未紗子さん、2番員：木村紬加さん、3番員：倉掛由紀江さん、4番員：北原恵美さん、補助員：蘇木愛さん)



町の話題や注目のものを町民のみなさんに『ちくぜんレポート』としてお伝えしています。今回は「女性消防操法大会結団式」です。



気合いを入れてファイト！

筑前町議会だより 「うぐいす」の 表紙写真を募集！

筑前町内で撮った写真であれば、風景や人物は問いません。
あなたの好きな景色や子どもが遊ぶ姿など、たくさんの応募をお待ちしています。

※詳細は筑前町議会のホームページでご確認ください。

● 募集内容 ●

- 【応募資格】 町内在住、もしくは町内通勤・通学の方
- 【応募点数】 お一人様何点でも
- 【被写体等】 風景、人物は問わず、町内で撮ったもの。被写体の承諾を得たものに限りします。
- 【規 格 等】 縦撮り、横撮り、どちらも可能(ただし未加工・未発表のもの)、随時募集します。
応募はプリント写真ではなく、データ(500万画素以上)で提出願います。
- 【応募方法】 写真データを下記の議会事務局宛てにメール送信、又はCDをご持参ください。
応募の際は、撮影者の氏名・住所・連絡先・撮影場所・写真のタイトルを提出ください。(町内通勤・通学の方は、会社名・学校名を記載)
- 【宛先：議会事務局】 gikai@town.chikuzen.fukuoka.jp

委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長	議 長
木 村	石 橋	柳 橋	寺 原	河 内	山 本	田 中
和 彦	里 美	雅 明	裕 明	直 子	久 矢	政 浩

発行責任者

議長

田中 政浩



(河内 直子)

日本では一番遅い、梅雨入りとなり、水不足が心配されながらも、あたり一面、美しい田園風景が広がっています。今年も豊作をお祈りします。

新しいメンバーで取り組んだ第一号でしたが、読者からのご指摘で間違いが見つかりました。メンバー一同、一層の努力をして紙面づくりに励んで参ります。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

編集後記